

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	○			各活動のエリアに分けて対応している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準に対して2倍以上の配置数をしている
	③	事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮がなされているか			○	バリアフリー化はされていない
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参加しているか	○			毎日・毎月の打ち合わせを行っている
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年、継続して実施している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年、継続して実施している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の外部評価及び見学を率先して受け入れる事で、今後は業務改善への評価を頂く準備中。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間の研修プログラムを立案し、参加したり、オンラインでいつでも研修を受けられる環境が整っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメント適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			インフォーマルアセスメントを行い強み、芽生えを大切に計画策定している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			インフォーマルアセスメントやTTAP・アセスメントキット等を使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			適宜ミーティングを行い、現在の状況を共有し、プログラムの立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			必要に応じてミーティングを行い活動プログラムを立案、変更している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日は活動時間が長い為、プログラムを見直し、長い時間だからこそ出来る課題やスケジュールを設定し、支援を行っている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに基づいた特性に配慮した支援を行い計画策定をしている

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必要に応じて行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を等を共有しているか	○			必要に応じて行っている
	⑰	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			必要に応じて行っている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年毎に行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		児童発達支援センターの研修で理解を深めている段階である
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加している
	㉑	学校との情報共有（年間行事・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			管理者もしくは児童発達支援管理責任者が行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現状実績なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			他の児童発達支援事業等から情報は頂き共有している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			ご本人・保護者の了解を得て、書類や場合によっては会議を開催して引継ぎを行っている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			年に何回かある研修には必ず最低1、2名は積極的に参加している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	新型コロナウイルス感染予防の為、交流の機会を設けることは出来ない

	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人から1, 2名は参加して構成員としても行っている
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者との関係性については全体的に良好である為、共有出来ている
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			○	現状実績なし
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、計画の更新、変更の際や保護者様からの問い合わせの際には、理解納得し、了承して頂けるよう説明を行っている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っているか	○			助言や支援をしっかりとしている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援をしているか			○	現状実績なし
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった際には、すぐに事業所会議→管理者会議を行い、苦情の原因確認、今後の対応を話し合う
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			変更事項については、書面にて伝達している
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			注意して行っている
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性把握した上で、支援の方向性に努めている
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	毎年お祭りを開催する際に、挨拶と案内を出してお知らせしている
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			職員と保護者へも周知済みである

非常時の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に最低年に1回週間で行い、記録をしっかりとしている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		常勤、非常勤、運転手等と利用者に関わるスタッフ全員に実施している
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		他事業所や学校等で、行動障がい が激しい場合でも、本人の特性と環境の相互作用を理解し、スタッフ1人ひとりがしっかり知識を持ち配慮する事によって、身体拘束することなく落ち着いて過ごす事が出来ている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		必要時は適切に事前の対処している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		発生後と毎月の会議で共有をしている